

～ようこそ！自然の恵み野わっさむ町へ～

農村生活体験事業

実習生3名が来町しました

ようこそ！和寒町へ 今年も「農村生活体験事業」に参加される3名の女性のかたが来町されました。

和寒町担い手推進協議会が平成2年からはじめたこの事業には、これまで23都府県から84名のかたが参加されています。

参加者は、10月末までの約5か月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内の9戸の受け入れ農家などで農業実習や町内の各種イベントに参加するなどして農村の魅力を体験していきます。

町民の皆さん5ヶ月間どうぞよろしくお願いたします。

今回は、和寒町の印象についてなどをそれぞれインタビューしましたのでご紹介します。

◆実習生の皆さんに次のことを伺いました。

Q1 和寒町に来て感じたことや印象は何ですか。

杉山亜矢乃

大変のどかでいい所だと思えます。たった100年でここまで開拓したご先祖様に頭が下がる思いです。



杉山亜矢乃さん
出身地：静岡県
趣味：園芸・ゴルフ
・ドラマ鑑賞など

佐伯尚子
流れる時間がのどかに感じた。あと町民のかたがたがとても優しいと思った。

大迫裕美

都会暮らししかしたことがないので不安がありました。思ったよりもお店があつて安心しました。空が広くて夕日がキレイです。

Q2 農業体験をしたいと思つたきっかけは何ですか。

杉山亜矢乃

人間は食べ物が無くては生きていきません。いずれ来る可能性のある食糧難に備えるためにも自力で生産する能力を身に付けたいと考えていたところ、たまたま募集を目にしたため。

佐伯尚子

もともと農業に興味があつて、いつか農業の仕事をしてみたいと思つていました。ここでの生活を今後役に

立てることができたらと思つたのがきっかけです。



佐伯尚子さん
出身地：愛知県
趣味：散歩・パソコン・読書・旅行など

大迫裕美

野菜が好きで、また小さい頃からものづくりが好きだったので一度野菜づくりに1から携わつてみたいと思つていたのと、北海道に住みたいという思いがあつたので今回応募いたしました。



Q3 農業体験で楽しみにしていることは何ですか。

杉山亜矢乃

何よりも自分の関わった野菜が育つていく過程を見ることが出来るのが楽しみです。

佐伯尚子

自分が育てた野菜が実っていくの
が見えるところ。新鮮な野菜が食べ
られるところ。

大迫裕美

採れたての野菜が食べられること
をとても楽しみにしています。



大迫裕美さん
出身地：大阪府
趣味：ものづくり
(料理・裁縫など)

Q4

農業体験で不安なことはあり
ますか。

杉山亜矢乃

寧ろ良くしていただきすぎて恐縮
です。ご心配に及ばぬよう、勤めさ
せていただきます。

佐伯尚子

体力に自信がないところ。

大迫裕美

ありません。

Q5

農業体験のみならず、北海道
でやってみたくはありますか。

杉山亜矢乃

機会があれば酪農体験もしてみ
たいです。北海道ならではのいい
ものや、いい所をたくさん見つけ
たいと思います。

佐伯尚子

酪農や観光など、色々やりたいと
思っています。長期滞在や移住もし
てみたいです。

大迫裕美

和寒に住んでいる間に、たくさん
の場所に行きたいと思っています。せ
ひ、おすすめの場所を教えてください。

Q6

この農業体験をおしてどの
ようなことを学びたいで
すか。

杉山亜矢乃

まず農作業の流れを体に覚えさせ
ること。また、この町に住む方々の
生き方を、見せていただき、見習う
べきところを見習っていきたくと思
います。

佐伯尚子

おいしい野菜の作り方や見分け
方。それと、これから自分に農業が
出来るのかどうかいろいろな形で学
んで生きたい。

大迫裕美

普段食べている野菜がどのように
作られているのかということや学ん
でいきたいと思っています。美味し
い野菜の見分け方なども知りたいと
思っています。



Q7

最後に和寒町民の皆さんにメ
ッセージをどうぞ。

杉山亜矢乃

私たち実習生を受け入れてくださ
ったことに感謝いたします。少しで
も皆様の役に立てるよう頑張ります
ので、どうぞ宜しくお願いいたしま
す。

佐伯尚子

至らない所が多いと思いますが、
町民の皆さんにとけこめるように頑

張りますのでよろしく願いたし
ます。

大迫裕美

とても温かく迎えていただき、あ
りがとうございます。これから5ヶ
月間、農業体験やさまざまな行事を
通して地元では経験できない事をた
くさん知りたと思います。どう
ぞ、よろしく願います。

■受け入れ農家さんから■

今年で実習生を受入れして3年に
なる字川西藤井勇二さんは、「毎
年、実習生は一生懸命働いてくれ
ています。この実習で少しでも農業の
大変さや辛さ、収穫の喜びなどを
知ってくればうれしいです。」

そして良
い人を見つ
けて和寒町
に残っても
らえるとよ
りうれしい
です。」と
話してくれ
ました。



農村生活体験事業の詳しい内容
については、和寒町農業委員会
(32) 2435までお問い合わせ
ください。